

令和4年度 5月の補導活動

佐久市少年センター

1	街頭補導実施回数	12回
2	延べ従事補導委員数	29人
3	相談件数	0件
4	補導した少年数	0人
5	声かけ人数	218人



5月の補導日誌から

5月2日(月)

専門補導委員 記

巡回経路 鼻顔公園 → 王城公園 → 若宮公園

補導の様子

野辺には黄色いたんぼぼの花が咲き、野鳥の歌声が心地よい。鼻顔公園には春の陽気に誘われて多くの子どもたちが遊んでいた。小学校5年生だという男子児童は、友達と誘い合わせてこの公園をよく利用しているという。高瀬から来たという親子連れの母親は、雲梯のあるこの公園は幼い娘さんのお気に入りだと話してくれた。王城公園では2名の高校生が談笑していたが、他に子どもの姿はなかった。「王城のケヤキ」には柵はあるものの、北側の崖には注意したい。若宮公園には十数名の子どもたちが遊んでいた。思い思いに公園内を走り回る子らの姿や、親子の歓声に幸福を感じた。

5月6日(金)

専門補導委員 記

巡回経路 佐太夫町公園 → 横町公園 → 水上公園 → 橋場公園 → 佐久大橋河川敷 → 成田公園 → 中込グリーンモール → 城山公園

補導の様子

寒暖差が大きい昨今であるが、今日は曇り空で気温が上がらず、肌寒い1日であった。各公園は混雑しておらず、親子連れが散歩をしたり、ブランコで遊んだりしている程度であった。しかし橋場公園では、放課後児童クラブと思われる6~7人の子どもたちと指導員の皆さんが、活発に体を動かして活動していた。環境浄化活動の一環である清掃活動が実施される佐久大橋河川敷は、佐久千曲川大花火大会の会場にもなるが、ごみなどもなくきれいに環境整備されていた。

5月9日(月)

専門補導委員 記

巡回経路 大型スーパー → 佐久平浅間児童館 → 高瀬児童館

補導の様子

皐月の雨が若葉を濡らしている。傘を片手に街頭補導に出かけたが、思いの外肌寒い。大型スーパーの店内は、雨の影響もあって客足は鈍い。ゲームセン

ターでも人影は少ない。一人でゲームをしていた子どもに話しかけた。小学生だというその子は、母親と買い物に来ているという。はきはきとていねいな言葉遣いで応答してくれた。佐久平浅間児童館は大勢の児童が利用していた。館長さんは、家庭でみることのできない場合のみ子どもを受け入れているが、コロナ感染対策には気を配っていると実情を話してくれた。話をうかがっている最中も、頻繁に迎えの親が訪れていた。

高瀬児童館は32名の利用があり、館内は落ち着いた雰囲気を感じられた。雨も小降りになっていたが、足早に迎えの車に乗り込む親子に手を振って見送った。



5月10日（火）

専門補導委員 記

巡回経路 成田公園 → 東京電力第一調整池 → さくらいこどもひろば
→ 岸野諏訪神社 → 縣神社 → 前山地区運動公園

補導の様子

中込中・野沢中学校区内の通学路を巡回し、その付近の公園や神社等を訪問した。成田公園に向かう途中、下校中の大勢の児童に出会った。ランドセルで背中が隠れている1年生と思われる小さな児童は、上級生の後を歩き、安全な通学方法を身に付けようとしているように思えた。東電第一調整池・さくらいこどもひろば・岸野諏訪神社・縣神社には人影がなかった。前山地区運動公園では、5～6名の男子小学生がピッチャー・バッター・守備に分れて野球をやっていた。また、公園の隅では祖母に見守られながら低学年と思われる女児がブランコに揺られながら遊んでいた。

5月13日（金）

専門補導委員 記

巡回経路 安原公民館 → 東地文化センター → 駒場公園 → アミューズメント施設

補導の様子

佐久圏域は、新型コロナウイルス感染レベルが5（特別警報Ⅱ）であり、来週は地区選出の補導委員による街頭補導活動が中止となった。該当する補導委員さんへの連絡を兼ねて街頭補導活動を実施した。東小学校の通学路では、歩道を整然と歩いて下校途中の多くの児童に行き合った。児童は、小雨が降り出したためかいつもより速足で、家路に向かってるように思えた。危険な行動や問題となるような光景はなかった。また、児童は横断歩道を渡り切ると、停車した車の運転手さんに向かって、ていねいにお辞儀をして感謝の気持ちを伝えていた。今後も、この感謝の気持ちを持ち続けて欲しいと思った。東地文化センターと駒場公園には児童生徒の姿は見えなかった。続いて、アミューズメント施設を訪問した。パチンコ店にはパチンコやスロットの客が大勢いたが、未成年者と思われる客は確認できなかった。お店の方は「今日のように雨天の日は天気の良い日より来店客が多い」とおっしゃっていた。ゲームコーナーは、新たにラジコンコーナーのほか、浅間山や鯉などがチョークで書かれた黒板絵が設置され、インスタ映えするスポットも設置されていた。

5月18日(水)

専門補導委員 記

巡回経路 あさしな児童館 → 浅科図書館 → こどもひろば → 庄ノ上公園
補導の様子

今日はよく晴れて、汗ばむほどの陽気であった。あさしな児童館に立ち寄ると、館長さんが広場で子どもたちと走り回って遊んでいるところだった。子どもたちもうれしそうだ。他にも子どもたちはボール遊び、大縄跳び、ゴム飛びなど工夫して楽しそうに活動していた。お話をお聞きすると最近では30人から40人程が利用しているようだ。コロナ感染対策は学校に倣って行い、野外でのマスクの使用は本人の選択に任せるようになったという。浅科図書館では、平日1日200冊、休日は300～400冊ほどの貸し出しがあるようだ。4月からコロナ感染に対する規制も少し緩和され、学習室が入室から2時間に限り利用できるようになったという。土日には、中学生を中心に利用者が多いが、スムーズな利用がされているようだ。施設は木がふんだんに使われていて、落ち着いた雰囲気は充満していた。庄ノ上公園では、小学3、5年生の児童が3人で遊んでいた。こちらからの声かけにはきはきと進んで話してくれた。「ゲームも好きだけど、週に3日、30分ずつと決めてやっている」という。しっかりしている子どもたちだなあと感じた。

5月19日(木) 学校訪問(東中学校)

専門補導委員 記

概要

コロナ禍の対応により、専門補導委員3名で学校訪問を行った。教頭先生、生徒指導主事の先生に出席していただいた。学校からは、学校での生徒の生活の様子、学校と地域とのつながりや地域の皆さんへのお願い等お話をうかがった。専門補導委員からは、佐久警察署の資料に基づいて管内の治安情勢やライボ君安心メールについて概要をお話し情報交換をした。



5月20日(金)

専門補導委員 記

巡回経路 下越児童館 → 稲荷山公園 → 下の宮児童公園
補導の様子

早苗が風にそよいでいる。遠雷を気にしながら小雨の中、臼田方面の街頭補導に出かけた。下越児童館は、臼田文化センターの隣に位置している。児童は、田口小学校から40分ほどかけて来館するため、その姿はまだなかった。館長さんの話では、利用者は10名未満のことも多いが、小学校の指示などにより、手指消毒や検温など、コロナウイルス感染対策には神経を使っているという。外遊びができる庭はないが、2階にはボール遊びができるスペースも用意されていた。下の宮児童公園には子どもの姿はなかった。稲荷山公園の駐車場に着くと、元気の良い子どもたちの歓声が聞こえてきた。満開の藤の花の近くで、捕虫網を持った6人の小学生が昆虫採集をしていた。小学校2年生だというその子たちは、明るい表情であいさつすると、採集した昆虫を見せてくれた。今にも雨が降ってきそうな空模様でも元気よく遊ぶ子どもたちの姿に元気をもらい、大きく手を振って別れた。

5月24日(火)

専門補導委員 記

巡回経路 取出児童遊園 → 取出町ふれあい公園 → 高柳公園 → 中嶋公園
→ 城山公園 → 原公園

補導の様子

取出児童遊園の木陰で日差しを避けるようにして、2名の女子高校生がスマホを手にしながら談笑していた。声かけすると同じ高校に通う1年生で、自宅が同じ方向であるため、下校途中の公園で一休みしているとのことだった。スマホの使用について「親と約束事があり、きちんと約束を守っています」と笑顔で答えてくれた。城山公園の芝生内で、10数名の男子小学生がサッカーボールを蹴って遊んでいた。他に、保護者と来園している未就学児も何人かいた。原公園では、東屋で2名の男女が向かい合って勉強をしていた。二人は、中学1年生で「明日、中学に入って初めての中間テストがあり、今勉強中です」とのこと。男子は国語、女子は数学の勉強をしていた。小学校のころからの仲良しで、明日のテストで良い成績を残したいと思い、勉強中とのことだった。しっかりと中学生生活をスタートした姿にすがすがしさを感じた。



5月25日(水)

専門補導委員 記

巡回経路 市民交流ひろば → ミレニアムパーク → 佐久平駅
→ 大型スーパー

補導の様子

夏を思わせる陽気に、行く春を惜しみつつ佐久平方面の街頭補導に向かった。今にも雨が降ってきそうな空模様だが、市民交流ひろばは大勢の親子連れでにぎわっていた。初心者向けのボルダリング施設には、大勢の子どもたちが遊んでいた。プレイサークルは4人の利用者がおり、この施設をよく利用するという中学生とことばを交わした。少しはにかみながら、スケートボードについて話してくれた。ミレニアムパークに人影はなかった。佐久平駅の小海線ホームから、数名の女子高生が楽しそうに話しながら下車してきた。大型スーパーのゲームセンターには数名の高校生や親子連れが遊んでいた。施設入り口の看板には、「保護者同伴でない場合、16歳未満のお客様は18:00以降ご入場いただけません」と掲げられていた。お店の方にお話をうかがうと、「10分前に声がけをさせていただきます。問題になるようなことはありません」と返答していただいた。青少年への対応に感謝を申し上げ、店を後にした。

5月26日(木)

学校訪問(岩村田小学校)

専門補導委員 記

概要

1班の補導委員の皆さんと岩村田小学校への学校訪問が予定されていましたが、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、1班の皆さんの参加は遠慮していただき、専門補導委員3名で岩村田小学校を訪問しました。訪問したところすでに会議室を準備していただいております。教頭先生から学校の教育目標「ひとりになれる ひとつになれる」や生徒の様子等についてていねいな説明をしていただきました。かつて、1000名の児童が学んでいた岩村田小学校

ですが、佐久平浅間小学校の開校により児童数は約 500 名となり、現在は 510 名の児童が学んでいるとのことでした。児童は落ち着いた生活を送っており、不登校傾向の児童については、担任を含め多くの職員で対応されているとのことでした。交通事故は本年度に入り 1 件も発生していないとのことでした。本年開校 150 年を迎えるが、児童・職員だけでなく地域の皆さんと 150 年の節目を迎えたいとおっしゃっていました。

5月27日(金)

専門補導委員 記

巡回経路 中佐都小学校通学路 → 中佐都駅周辺 → 佐久平浅間小学校通学路
→ 近津南公園 → 中佐都小学校通学路(2回目) → 一本柳公園

補導の様子

ライポくん安心メールの事案(男子小学生が帰宅途中に見知らぬ男に後をつけられる)をうけて、中佐都小学校通学路を重点的に巡回した。事案が発生した場所付近の通学路では、小学校の職員と思われる方が、下校途中の子どもたちを見守っている姿が見られた。警察もパトロールを強化してくださっているようだ。少年センターの街頭補導活動も子どもたちの安心・安全の一翼を担っていると感じた。近津南公園では、団地の近くということもあって親子連れ何組かが遊びに来ていた。一本柳公園では、小学校低学年 5 人が遊具で遊んでいた。どちらの公園も広さ、遊具の充実、きれいさなど、利用しやすい公園なんだなと思った。

5月30日(月)

13班 (K・M記)

巡回経路 中込駅 → 水上公園 → 橋場公園 → 成田公園 → 中込児童館
→ 成知公園 → 中込駅

補導の様子

土曜日に行われた運動会の振替休日で、ほとんどの公園に子どもの姿はなかった。児童館では、低学年の子ども利用が多い。家の留守番に不安を感じる親が多いためとのこと。成知公園では、男子 3 人がお菓子を食べて遊んでいた。補導委員の H さんのお孫さんと同級の子もいた。また、スウェーデンから実家に一時帰国した女性が「近所に住む 1 年生と 5 年生の姉妹が、言葉のよく分からない 4 歳の娘の面倒をよく見てくれる」と喜んでいました。弟さんがいる千葉では、遊んでくれる子どもがいなかったとのこと。



5月31日(火)

2班 (I・S記)

巡回経路 大型スーパー → 市民交流ひろば → ミレニアムパーク
→ 佐久平駅 → 大型スーパー内ゲームコーナー・フードコート

補導の様子

市民交流ひろばでは、親子連れが 3 組ほど遊んでいました。管理の方にあいさつをし、お話を伺いました。毎回、公園内のトイレをチェックしていますがいつも清潔にされていて、利用される方は気持ちよく利用できると思い、管理が行き届いていることに感謝です。ミレニアムパーク内のプレイサークルでは、

スケボーをする青年とキックバイクで遊ぶ幼児とお母さんがいました。佐久平駅では、駅の利用客のほか帰宅途中の中・高校生が数名いました。外のベンチで2人の女子高校生に専門補導委員が声をかけました。大型スーパー内のゲームコーナー・フードコート共に普段よりお客が少なく、店内は静かに感じました。

＜5月の補導を終わって。 専門補導委員＞

令和4年、新型コロナウイルス下で行われた諏訪大社御柱祭が終わりました。7年目毎、寅と申の年に諏訪の地でとり行われるこの神事は、御柱となるモミの大木を山から曳き出し、諏訪大社の境内に建てるという勇壮な伝統行事です。今年は新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインに従い、木落しが中止となり、氏子による里曳きは、トレーラーなどでの運搬となりました。1200年以上も受け継がれ、諏訪の人々にとって誇り高いこの祭りが、規模縮小を余儀なくされたことの落胆は計り知れません。

善光寺御開帳も数えて7年に一度の盛儀ですが、今年は参拝者の安全に配慮し、密を避け、期間を延長して開催されています。佐久地方でも7月から8月にかけて、岩村田や野沢の祇園祭、望月の榊祭りなど、伝統的な祭りが予定されています。ところが、本年も新型コロナウイルス感染症の影響で、規模縮小や中止が避けられない状況です。担い手不足や、資金の問題など、祭りを取り巻く環境は厳しいと言われていますが、慣れ親しんだ昔からの祭りを心待ちにしている人も少なくないことでしょう。地域の祭りが連綿と受け継がれ、家族や親戚、地域の絆を深め、さらに、地域活性化の一助になればと願っています。

【事務局から】

協 議 会	
5月 11日 (水)	佐久市少年センター運営協議会 ・ R3年度事業報告 ・ R4年度事業計画 ・ その他
16日 (月)	令和4年度 佐久市少年センター補導委員協議会 総会 ・ R3年度事業報告 ・ R4年度事業計画 承認済
6月 10日 (金)	第2回佐久市少年センター補導委員協議会 理事会 ・ 子どもまつりについて ・ 視察研修、研修会について ・ 環境浄化活動について

学 校 訪 問	
5月 19日 (木)	東中学校 済
26日 (木)	岩村田小学校 済
6月 2日 (木)	泉小学校 済
6日 (月)	切原小学校 済
23日 (木)	野沢中学校 予定
30日 (木)	佐久平浅間小学校 予定

※7月の七夕まつり、岩村田祇園祭、野沢祇園祭での街頭補導活動は中止となります。